

(9) 研究課題評価

ア 実施状況

① 対象

県立試験研究機関が行う試験研究開発課題（調査、分析を含む。以下「研究課題」という。）のうち、次に掲げるものを対象とする。

ただし、研究を含まない技術移転、普及及び指導のみに係るものについては評価の対象としない（研究計画が技術移転、普及及び指導を含むものであるときは、当該技術移転、普及及び指導についても評価の対象とする）。

(1) 目的設定

新たに予算計上しようとする研究課題

(2) 中間評価

令和5年度以前に着手し、令和6年度に予算計上している研究課題及び研究機関を延長しようとする研究課題

(3) 事後評価

令和5年度に終了した研究課題

○実施件数

目的設定	14件	※令和6年度当初予算関係
中間評価	15件	
事後評価	17件	

② 実施時期

(1) 目的設定 令和5年10月

(2) 中間評価 令和6年6月

(3) 事後評価 令和6年6月

③ 評価に用いた観点及び判定基準

(1) 目的設定

観点	考察項目
必要性	政策的妥当性
有効性	研究開発効果
技術的達成可能性	技術的達成可能性
	研究計画・研究体制の妥当性

(2) 中間評価

観点	評価項目	判定基準
必要性	ニーズの状況変化	a ニーズの増大とともに研究目的の意義も高まっている
		b ニーズに大きな変動はない
		c ニーズの低下とともに研究目的の意義も低くなってきている
有効性	効果	a 大きな効果が期待される
		b 効果が期待される
		c 小さな効果が期待される
目標達成可能性	進捗状況及び目標達成阻害要因の状況	a 計画以上に進んでいる
		b 計画どおりに進んでいる、又は、進捗の遅れや目標達成の阻害要因はあるが今後の努力により、最終到達目標を達成できる見込みである。
		c 進捗の遅れや目標達成の阻害要因があり、最終到達目標を達成できない恐れがある。
総合評価	A	9～8点
	B	7～6点
	C	5～4点
	D	3点

(3) 事後評価

観点	評価項目	判定基準	
目標達成	最終到達目標の達成度	a	十分達成できた
		b	ほぼ達成できた
		c	達成できなかった
有効性	研究成果の効果	a	効果大
		b	効果中
		c	効果小
総合評価	A	6 点	
	B	5 ～ 4 点	
	C	3 ～ 2 点	

イ 研究課題評価結果の概要及び評価結果の反映状況

○評価結果の概要

中間評価及び事後評価の詳細は、次頁の一覧表及び各評価調書を参照

○反映状況

■ 中間評価

研究計画内容の見直しや研究課題に係る今後の対応方針及び予算要求に反映させるとともに、予算要求・予算編成の資料として活用（個別課題の対応状況は、各評価調書を参照）

■ 事後評価

実施中又は将来の類似研究の課題設定等に反映させるとともに、研究機関の研究基本方針や研究計画の策定の検討資料として活用

中間評価（継続研究課題）結果一覧

No	課 題 名	研究機関名	事業年度	評価			
				ニーズ の状況 変化	効果	進捗状況 及び目標 達成阻害 要因	総合 評価
1	花卉の食品利用技術開発	総合食品研 究センター	R5～R7	b	b	b	B
2	実需に応じた秋田米生産を支える病虫害防除技術の確立	農業試験場	R3～R7	a	b	b	B
3	大規模水田作におけるスマート農業技術を活用した労働及び土地生産性向上技術の確立	農業試験場	R4～R8	a	b	b	B
4	高密度播種苗による良食味米品種の省力安定生産技術の確立	農業試験場	R4～R8	a	a	b	A
5	果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜	果樹試験場	H28～R7	a	a	b	A
6	園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適応する品種の選抜	果樹試験場	R3～R12	a	a	b	A
7	リンゴの土着天敵フル活用のための持続可能な環境負荷低減防除体系の構築	果樹試験場	R4～R8	a	a	b	A
8	雨よけ施設を活用した果樹の省力・高収益生産モデルの構築	果樹試験場	R5～R9	a	a	b	A
9	稲わらの調製方法の違いが肥育牛に与える影響の検討	畜産試験場	R3～R7	a	a	b	A
10	磯根資源の管理と蓄養技術の開発	水産振興セ ンター	R4～R8	a	b	a	A
11	低コスト造林を実現する秋田スギの開発	林業研究研 修センター	R3～R7	a	a	b	A
12	多様な樹種構成による秋田の海岸防災林造成技術の開発	林業研究研 修センター	R4～R8	a	b	b	B
13	再造林オプションとしての広葉樹林施業技術の刷新	林業研究研 修センター	R5～R9	a	b	b	B
14	品質・設備モニタリング技術開発とスマート工場の実現	産業技術セ ンター	R5～R7	b	b	b	B
15	金型の機能性向上に資する金属AM技術の開発	産業技術セ ンター	R5～R7	b	b	b	B

事後評価（令和５年度終了研究課題）結果一覧

No	課 題 名	研究機関名	事業年度	評価		
				目 標 達成度	効果	総合 評価
1	美の国からのヘルス&ビューティーフーズ発信	総合食品研究センター	R3～R5	b	b	B
2	秋田の清酒業界がポストコロナを生き延びるための革新的清酒製造技術開発	総合食品研究センター	R3～R5	b	b	B
3	麹菌におけるゲノム編集育種の基盤構築	総合食品研究センター	R5～R5	b	b	B
4	食品中の残留農薬の分析精度向上と調理による変化に関する研究	健康環境センター	R3～R5	a	b	B
5	第５期次世代銘柄米品種の開発	農業試験場	R元～R5	b	b	B
6	野菜の競争力強化を目指した新栽培技術の開発	農業試験場	R元～R5	a	a	A
7	先端技術を活用した新たな園芸作物病害虫防除技術の確立	農業試験場	R元～R5	a	b	B
8	労働力不足に対応した園芸品目導入に向けた推進方策の解明	農業試験場	R3～R5	b	b	B
9	牛肉におけるモモの脂肪交雑を改善する肥育技術の開発	畜産試験場	R元～R5	b	a	B
10	哺乳方法および飼料給与量が黒毛和種子牛の発育に及ぼす影響	畜産試験場	R3～R5	b	a	B
11	ハタハタの資源変動と漁場形成に関する研究	水産振興センター	R元～R5	b	b	B
12	湖沼河川における水産資源の安定化と活用に関する研究	水産振興センター	R元～R5	b	b	B
13	漁業・流通支援システムの構築に関する研究	水産振興センター	R2～R5	a	b	B
14	内水面重要魚種の増殖技術の高度化に関する研究	水産振興センター	R2～R5	b	a	B
15	菌床シイタケのスマート栽培技術の開発	林業研究研修センター	R元～R5	b	a	B
16	微細構造工学素子の基礎技術の確立	産業技術センター	R3～R5	b	b	B
17	５Ｇを用いたテレプレゼンスシステムの研究開発	産業技術センター	R3～R5	b	b	B